

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 7 部門第 1 区分
【発行日】平成27年9月24日 (2015.9.24)

【公開番号】特開2014-192082(P2014-192082A)
【公開日】平成26年10月6日 (2014.10.6)
【年通号数】公開・登録公報2014-055
【出願番号】特願2013-68092(P2013-68092)
【国際特許分類】

H 0 1 R 13/46 (2006.01)

H 0 1 R 24/28 (2011.01)

【F I】

H 0 1 R 13/46 3 0 2 B

H 0 1 R 24/28

【手続補正書】
【提出日】平成27年8月7日 (2015.8.7)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項 1】

回転プラグをケース内に収容した状態と前記ケースから突出した状態との間で回転可能となるようにした回転プラグを備えた機器であって、

前記回転プラグが、一对の導電性部材と、当該一对の導電性部材を保持して前記ケースに回転可能に支持されたプラグ本体部とを有し、

前記プラグ本体部の回転周囲側を向く外側周面に、前記ケースに接触してスライドするスライド面が形成されていることを特徴とする回転プラグを備えた機器。

【請求項 2】

前記一对の導電性部材が、前記プラグ本体部の前記外側周面から突出した一对の栓刃部と、前記プラグ本体部の前記外側周面とは異なる側面に露出してケース側端子に接触する接点部とを同一平面上に有する請求項 1 記載の回転プラグを備えた機器。

【請求項 3】

前記スライド面が、前記プラグ本体部の前記外側周面における回転軸方向に沿った両端部に形成されている請求項 1 又は 2 記載の回転プラグを備えた機器。

【請求項 4】

前記プラグ本体部の前記外側周面において、前記スライド面と前記スライド面よりも回転軸方向内側の面とが連続している請求項 1 乃至 3の何れかに記載の回転プラグを備えた機器。

【請求項 5】

前記プラグ本体部の前記外側周面において、前記スライド面よりも内側に位置する面に、回転方向に沿って凹部又は凸部が形成されており、

前記凹部又は前記凸部が、前記ケースに設けられた凸部又は凹部に係合して、前記プラグ本体部が回転する請求項 1 乃至 4の何れかに記載の回転プラグを備えた機器。